



新体制の門出を祝福 新役員・議員就任披露パーティ

12月1日、この度の神戸商工会議所役員・議員改選により選任された新役員・議員を披露するとともに、退任された役員・議員に対し感謝の意を表するため、「新役員・議員就任披露パーティ」を開催した。

当日は、川崎会頭をはじめ役員・

議員のほか、齋藤知事や久元市長ら各界からの来賓を含め、約230名が出席した。

冒頭、川崎会頭は、「3年後の2028年10月に神戸商工会議所は創立150年を迎える。この節目を意識し、まちの魅力と経済を一段と高め

るため、役員・議員はじめ関係の皆様とともに全力で取り組みたい」と述べ、今後の決意を示した。

また、前副会頭の尾山氏をはじめとする退任の役員・議員に対し、知事感謝状や市長感謝状、名誉議員証などを贈呈した。

委員長の委嘱、支部長の選任などを決定 第1回(通算第785回)常議員会

12月1日、新体制発足後初めての常議員会を開催し、正副会頭、常議員をはじめ、役員・議員33名が出席。委員長や顧問・参与の委嘱、正副支部長の選任などについて協議し、いずれも原案通り承認された。あわせて11部会の正副部会長の選任結果について報告。今後は部会や委員会、支部を中心とした事業活動を展開していく。

協議事項

1. 会員加入について
2. 委員会の改編並びに委員会運営規約の一部改正について
3. 委員長の委嘱について
4. 正副支部長の選任について
5. 名誉議員の選任について
6. 顧問・参与の委嘱について

正副部会長並びに正副支部長が決定

今年度役員・議員改選に伴い、11月上旬から下旬にかけて各部会を開催し、正副部会長を選任した。また、12月1日に開催された常議員会において正副支部長を選任した。いずれの任期も2028年10月31日までの3年間。

新たに選任された正副部会長、正副支部長は次の通り。

正副部会長

(部会別／順不同・敬称略／○は新任)

【小売商業部会】(11月18日選任)

- 部 会 長 米田 篤史 (株)ジェム 代表取締役社長
- 副部会長 梅田 稔 神戸菊水(株) 代表取締役
- 副部会長 山邑太左衛門 櫻正宗(株) 代表取締役社長

【卸売商業部会】(11月17日選任)

- 部 会 長 橋本 寛 (株)神戸マツダ 代表取締役社長
- 副部会長 瀧川 高章 兵庫トヨタ自動車(株) 代表取締役社長
- 副部会長 松田 幸治 (株)マニックス 代表取締役社長

【生活産業部会】(11月19日選任)

- 部 会 長 古塚 孝志 (株)ロック・フィールド 代表取締役社長
- 副部会長 寺本 督 (株)淡路屋 代表取締役社長
- 副部会長 光葉 應宏 ゴンチャロフ製菓(株) 代表取締役社長
- 副部会長 岡崎 忠彦 (株)ファミリア 代表取締役社長

【化学部会】(11月25日選任)

- 部 会 長 池田 浩 三ツ星ベルト(株) 代表取締役社長
- 副部会長 藤本 昭彦 石原ケミカル(株) 代表取締役社長
- 副部会長 野澤 俊也 (株)ノザワ 代表取締役社長

【機械・エネルギー部会】(11月12日選任)

- 部 会 長 奥村 英樹 (株)神鋼環境ソリューション 代表取締役社長
- 副部会長 浅田 秀樹 (株)コベルコE&M 代表取締役社長
- 副部会長 柴戸 要 三菱重工(株)神戸造船所 シニアフェロー神戸造船所長

【貿易部会】(11月14日選任)

- 部 会 長 船越 照平 (株)神戸洋行 代表取締役社長
- 副部会長 赤澤 秀朗 神栄(株) 代表取締役社長
- 副部会長 中島 洋人 東洋ナッツ食品(株) 代表取締役社長

【金融・専門サービス部会】(11月21日選任)

- 部 会 長 森中 寛 光証券(株) 代表取締役社長
- 副部会長 西多 弘行 神戸信用金庫 理事長
- 副部会長 上谷 佳宏 弁護士法人東町法律事務所 代表社員弁護士
- 副部会長 中尾 優 弁理士法人有古特許事務所 所長
- 副部会長 武市 寿一 (株)みなと銀行 取締役会長

【建設部会】(11月13日選任)

- 部 会 長 今津 由雄 今津建設(株) 取締役社長
- 副部会長 岡 澄彦 (株)岡工務店 代表取締役
- 副部会長 山下聖一郎 日本海工(株) 代表取締役社長

【海運港湾部会】(11月25日選任)

- 部 会 長 須藤 明彦 (株)大森廻漕店 代表取締役会長
- 副部会長 川西 二郎 川西倉庫(株) 代表取締役社長
- 副部会長 森本 真弥 森本倉庫(株) 代表取締役社長

【交通観光部会】(11月18日選任)

- 部 会 長 丸山 明則 神姫バス(株) 代表取締役・専務取締役
- 副部会長 伊東 正博 山陽電気鉄道(株) 代表取締役社長
- 副部会長 木崎 尚文 (株)JT神戸支店 神戸支店長

【情報・サービス文化部会】(11月20日選任)

- 部 会 長 加藤 貴紀 (株)さくらケーシーエス 代表取締役社長
- 副部会長 永吉 一郎 (株)神戸デジタルラボ ファウンダー／シニアアドバイザー
- 副部会長 瀬川 文宏 コベルコシステム(株) 代表取締役社長

正副支部長

(12月1日選任) (支部別／順不同・敬称略／○は新任)

【東神戸支部】

- 支 部 長 中島 洋人 東洋ナッツ食品(株) 代表取締役社長
- 副支部長 柳本 一郎 (株)マルヤナギ小倉屋 代表取締役会長
- 副支部長 寺本 督 (株)淡路屋 代表取締役社長
- 副支部長 光葉 應宏 ゴンチャロフ製菓(株) 代表取締役社長
- 副支部長 安福武之助 (株)神戸酒心館 代表取締役社長

【中央支部】

- 支 部 長 今津 由雄 今津建設(株) 取締役社長
- 副支部長 高田 誠司 樽五 協和商事(株) 代表取締役社長
- 副支部長 永吉 一郎 (株)神戸デジタルラボ ファウンダー／シニアアドバイザー
- 副支部長 和田 剛直 和田興産(株) 代表取締役会長

【西神戸支部】

- 支 部 長 松田 幸治 (株)マニックス 代表取締役社長
- 副支部長 北浪 孝一 丸正建設(株) 代表取締役社長
- 副支部長 山中 勸 (株)伍魚福 代表取締役社長

11.12 現場を強くする人的資本経営を学ぶ

機械・エネルギー部会 講演会



機械・エネルギー部会は、(株)三菱総合研究所組織・人材戦略本部人材戦略コンサルティンググループの平野勝也氏を講師に迎え、「現場を強くする人的資本経営～人事戦略からエンゲージメントまで」をテーマに講演会を開催した。

平野氏は、「人手不足は量だけでなく質のギャップへの対応が求められる」と指摘、そのためには経営戦略と人材戦略の連動こそが大切になると解説した。

また、成長性と持続可能性のどちらを意図する人事施策かを明確にし、「人員とスキルの両方が揃う好循環によって現場力を高めていくことが重要」と語った。

地域政策部

11.14 今後の日米関係について学ぶ

貿易部会 講演会



貿易部会は、同志社大学法学部政治学科教授の村田晃嗣氏を講師に迎え、「新総理大臣はトランプ政権とどう向き合うか」をテーマに講演会を開催した。

村田氏は、連発する大統領令を同政権の脆弱さの証としながらも「トランプ大統領の発言は場当たり的に見えて、2、3割は世界情勢を鋭く捉えている」と説明。一例としてグリーンランド領土の購入に向けた構想を挙げ、北極圏の主導権争いに重要な意味を持つと指摘した。

また、「トランプ大統領は約束を守る強いリーダーが好き」とし、高市政権は内政安定に取り組むべきと語った。

産業部国際チーム

11.13 建設業界におけるデジタル活用の最新動向を学ぶ

建設部会 講演会



建設部会は、国土交通省近畿地方整備局企画部施工係長の高橋秀爾氏を講師に迎え、「ICT施工及びインフラDXの普及推進について」をテーマに講演会を開催した。

高橋氏は、建設業界の課題である若年入職者の確保・育成への対策として、ICTを活用した施工事例や昨年同局が策定した「近畿インフラDXアクションプログラム」を紹介した。

また、将来にわたり社会資本を整備・維持するために、「受注者と発注者の技術力を結集し、必要な技術を活用できる環境整備に取り組みたい」と強調した。

地域政策部

11.17 AI活用による売上向上策を学ぶ

卸売商業部会 講演会



卸売商業部会は、神戸マリン総合法律事務所弁護士・中小企業診断士の西口竜司氏を講師に迎え、「生成AIで業務効率&売上アップ」をテーマに講演会を開催した。

西口氏は、「中小企業のAI導入率は1割程度に留まっており、活用次第で大きな伸びしろがある」と指摘。社内でのAI活用の定着を図るためには、「平安口調のラブレターをつくってみよう」など遊び心ある研修が効果的と紹介した。

また、AIへの指示（プロンプト）は役割設定がカギと説明し、企画書や営業資料づくりに役立つ具体例を交えて、実践的な活用法を解説した。

中小企業振興部

11.18 流れ着く未来じゃなく創り出す未来を目指す

小売商業部会、交通観光部会 講演会



小売商業部会と交通観光部会は、(株)フェリシモ代表取締役社長の矢崎和彦氏を講師に迎え、講演会を開催した。

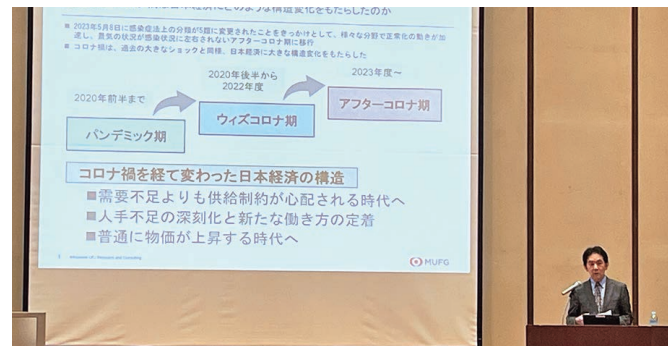
矢崎氏は、同社が理念を追求するために取り組む事業性・独創性・社会性を重視した商品開発や体験価値創出の事例を紹介した。また、新社屋でのワイン造りやポートタワー事業、共創拠点づくりにおけるまちづくりとの関わりに触れ、「流れ着く未来じゃなく、創り出す神戸の未来を一緒にしたい」と語った。

講演後は交流会を実施し、同社が運営する都市型ワイナリーのワインを楽しみながら、会員間の親睦を深めた。

会員事業部事業推進チーム

11.21 日本経済の現状とこれからを学ぶ

金融・専門サービス部会 講演会



金融・専門サービス部会は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)調査・開発本部調査部主席研究員の小林真一郎氏を講師に迎え、「国内経済の現状と展望」をテーマに講演会を開催した。

小林氏は、「コロナ禍により供給制約や人手不足、物価上昇が常態化し、経済構造が変化した。また、米国関税でGDPはマイナスに転じたが、個人消費や設備投資は増加基調にある。輸出はAI関連が押し上げている」と述べた。

また、「今後は内需主導で持ち直しが続き、2026年度は戦後最長の景気拡張期が期待できるのではないか」と語った。

総務部経理チーム

11.20 高市政権と今後の政治情勢を探る

情報・サービス文化部会 講演会



情報・サービス文化部会は、政治ジャーナリスト青山和弘氏を講師に迎え、「どこへ行く 日本の政治」をテーマに講演会を開催した。

青山氏は、「神戸大学出身の高市総理に対して、神戸の皆様は親近感を持っていると思う」と述べ、何事も自ら取り組む姿勢を持つ高市総理の特徴やエピソードを紹介した。

また、物価高やコメ不足、外交など、現政権が抱える課題を分析するとともに、取材経験を交えて政治の裏側にある人間関係の重要性などを語った。

中小企業振興部

11.25 世界経済の動向や日本企業の進路を学ぶ

化学部会、海運港湾部会主催講演会



化学部会と海運港湾部会は、多摩大学特別招聘教授の真壁昭夫氏を講師に迎え、「世界経済の転換点をどう読むか～不確実な時代を乗り切る企業の選択～」をテーマに講演会を開催した。

真壁氏は、海外の政治リスクや市場の最新動向について説明した上で、「経済の牽引役はかつてのスマートフォンからAI・ロボットに移行している」と指摘。日本企業が成長するためには「構造的な改革を進めること」「元々強みのある“モノづくり”に“ソフトウェア”を掛け合わせ、マーケティングを重視すること」が重要と語った。

産業部産業振興チーム